

2022年7月29日

県内景況

株式会社 鹿児島銀行
株式会社 九州経済研究所

最近の県内景況は、観光関連がやや持ち直し、生産活動が一部で持ち直し、消費関連で持ち直しの動きがみられ、雇用情勢が横ばいとなっている。一方、畜産関連は弱含み、投資関連はやや弱含んでいる。全体として回復に向けた動きがみられるものの、足元ではコロナ第7波でかつてない勢いで感染者が急増するとともに、海外情勢や急激な円安などの影響で先行き不透明感は強い。

生産活動は、4月の鉱工業生産指数が2か月ぶりに前年を上回った。食料品はほぼ前年並みとなったものの、窯業・土石製品、電子部品・デバイス共に前年を上回った。

畜産関連では、6月の肉用牛（和牛）枝肉価格は去勢A4はほぼ前年並みだった。また去勢A3、豚肉、ブロイラーむね肉相場は前年を上回った一方、ブロイラーもも肉、鶏卵相場は前年を下回った。

個人消費関連は、5月の百貨店・スーパー、ドラッグストア、コンビニエンスストア販売額は前年を上回ったものの、家電大型専門店販売額や6月の乗用車新車登録台数は前年を下回った。

観光関連では、6月の主要ホテル・旅館宿泊客数(鹿児島・霧島・指宿地区)は、7か月連続で前年を上回り、主要観光施設入場者数は、ほとんどの調査対象施設で前年を上回ったが、全体的に低水準で推移している。

投資関連では、公共工事請負金額、民間建築工事費予定額、新設住宅着工戸数のいずれも前年を下回った。

雇用情勢は、5月の有効求人倍率は前月を0.01ポイント上回る1.36倍だった。

【生産活動】... 一部で持ち直し

電子部品関連は、半導体需要が高まり、スマホや5G関連が好調に推移している。ただし、海外情勢の影響で、先行きに不透明感がある。

5月の焼酎生産は5か月連続で前年を上回り、出荷量は2か月ぶりに前年を上回った。

4月のかつお節生産は、8か月連続で前年を下回った。

6月の生コン生産（出荷量）は、公共工事向けが5か月連続で前年を下回り、民間工事向けは8か月連続で前年を上回り、全体では5.9%減と2か月ぶりに前年を下回った。

6月の紙パルプ生産は、2か月ぶりに前年を下回った。

木材関係は、製品相場がスギ、ヒノキ共に前年を大きく上回った。

【畜産関連】... 弱含み

6月の子牛の出荷頭数は前年を上回り、価格は前年を下回った。6月の肉用牛（和牛）の枝肉価格は去勢A4はほぼ前年並みで、去勢A3は前年を9か月ぶりに上回った。5月の枝肉生産量はほぼ前年並みとなった。

6月の豚肉相場は前年を上回った。5月の枝肉生産量は前年を下回った。

6月のブロイラー相場は、もも肉は前年を下回り、むね肉は前年を上回った。6月の処理羽数は前年を上回った。

6月の鶏卵相場は前年を下回った。5月の配合飼料価格は前年を上回った。

【消費関連】... 持ち直しの動き

5月の百貨店・スーパー販売は衣料品、飲食料品が前年を上回り、全体では8か月連続で前年を上回った。

5月の専門量販店販売額は、家電大型専門店は前年を下回ったものの、ドラッグストア、コンビニエンスストアは前年を上回った。

6月の乗用車新車登録台数は、半導体不足や部品供給減少などの影響により、10か月連続で前年を下回った。車種別にみると、普通車は21.1%減、小型車が1年1か月ぶりに3.0%増となった。

6月の軽自動車届出台数はほぼ前年並みだった。

【観光関連】... やや持ち直し

6月の主要ホテル・旅館宿泊客数(鹿児島・霧島・指宿地区)は、県民割・ブロック割効果などにより、九州、関東などからの入り込みや個人客、団体客が共に増加し、7か月連続で前年を上回ったものの、水準は低い状態が続いている。

鹿児島地区^注は、九州、関東などからの入り込みや個人客、団体客が共に増加し、8か月連続で前年を上回った。

霧島地区は、九州、関東などからの入り込みや個人客、団体客が共に増加し、8か月連続で前年を上回った。

指宿地区は、九州、関東などからの入り込みや個人客、団体客が共に増加し、6か月連続で前年を上回った。

種子島・屋久島地区は、6か月連続で前年を上回り、奄美地区^注は4か月連続で前年を上回った。

6月の主要観光施設入場者数は、ほとんどの調査対象施設で前年を上回ったが、全体的に低水準で推移している。

【投資関連】... やや弱含み

6月の公共工事は、件数、請負金額共に前年を下回った。

5月の民間建築工事着工は、棟数は前年を上回ったが、床面積、工事費予定額は前年を下回った。

5月の新設住宅着工戸数は持家、貸家、分譲がいずれも前年を下回り、全体では3か月ぶりに前年を下回った。新設住宅着工戸数の合計の3か月移動平均は前年を上回り、24.5%増となった。

5月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、2か月ぶりに前年を上回った。

【貿易関連】... 輸出額、輸入額共に前年を上回った

5月の輸出額は、木材が前年を下回ったものの、再輸出品、パルプ及び古紙、ゴムタイヤ及びチューブ、食料品及び動物が前年を上回り、全体では403.5%増と3か月連続で前年を上回った。輸入額は、原油及び粗油、穀物及び同調製品が前年を上回り、全体で130.7%増と14か月連続で前年を上回った。

^注 鹿児島・奄美地区は新型コロナ療養施設を除く

【雇用情勢】 ... 横ばい

5月の有効求人倍率は前月を0.01ポイント上回る1.36倍となった。県内求人数を業種別にみると、更新時期のずれで製造業が前年を下回ったものの、建設業、卸売業・小売業、医療・福祉は前年を上回った。

【金融情勢】 ... 貸出金残高は前年を上回った

5月の県内金融機関の貸出金残高は前年を1.0%上回った。

【企業倒産】 ... 倒産件数は前年を下回った

6月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が4件で前年同月（7件）を下回ったものの、大型倒産の発生により負債総額は100億96百万円で前年同月（4億89百万円）を大幅に上回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 (株)九州経済研究所 (Tel 099-225-7491)